

ジェラフィン 耐圧防水樹脂 Jellafin[®] 取扱説明書

本紙は、耐圧防水樹脂Jellafin[®]（ジェラフィン）の使用上の注意点や使用方法等について記載しています。ご使用の際にはよくお読みいただき、ご不明な点は弊社までお問い合わせください。なお、本紙の内容は予告なく変更される場合があります。

1. Jellafin[®] とは

Jellafin[®]（ジェラフィン）は、深海で使われる電子機器の耐圧防水用として開発された新世代の樹脂です。大気圧中と同じように、**水深1万mの水圧下でも水を通さず、光や電波を通し、電子部品を動作可能な状態に保ちます。**また、強力に密着して腐蝕を防ぎます。



Jellafin充填された電子基板

2. Jellafin[®] 使用上の注意

2. 1 取扱いに関して

- ① 口に入れないでください。
- ② 付着した主剤・硬化剤はペーパータオル等で丁寧に拭き取った後、大量の水と中性洗剤やクレンザーで洗い流してください。
- ③ 主剤・硬化剤は湿気の少ない冷暗所で、容器のフタをきちんと閉めて保管してください（開封後は速やかにご使用ください）。
- ④ 廃棄方法は各地方自治体のルールに従って処理してください。詳細は主剤・硬化剤の安全データシート(SDS)を参照ください。
<https://seckaiyo.com/download/>



主剤

硬化剤

2. 2 混合作業に関して

- ① 常温（約25℃）の室内で作業してください（有害ガスは発生しません）。
- ② 混合時の原液（主剤・硬化剤）は20℃～40℃の液温でご使用ください。
- ③ 混合のため容器に入れる際は、**主剤→硬化剤の順**に行ってください。

2. 3 充填・塗布に関して

- ① 油膜やほこりなどを除去してから樹脂を充填・塗布してください。
- ② 水中用途の場合、樹脂充填・塗布する対象が水分、空気、その他の気体を含まない、または、それらが十分に少ないものに適しています。

3. Jellafin[®] の使い方

ステップ1：主剤と硬化剤の計量・混合

主剤→硬化剤の順にプラスチック容器等に注いで、しっかりと攪拌混合します。

- ※ 主剤・硬化剤は白濁していない透明なものを使用してください。保管中に白濁した場合はご利用できません。
- ※ 主剤と硬化剤の重量比が1：1になるよう電子秤で計量してください。確実に硬化させるため、2液合計50g以上をお勧めします。
- ※ 混合の目安時間は2分程度です。



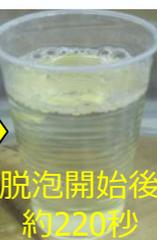
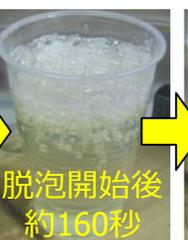
ステップ2：脱泡（水中で長期間使用される場合は真空脱泡をお勧めします）

混合後、必要に応じて脱泡します。以下、脱泡終了までの変化の様子です（脱泡時間は目安です）。



<参考>

- 弊社使用の小型真空脱泡機
- 日本ソセー工業株式会社
ミニダッポウ



ステップ3：充填・塗布などの作業

混合 または 脱泡が終わった後、用途に応じて「充填」や「塗布」などの作業を行います。



充填
(流し込みなど)



塗布
(刷毛塗りなど)

※ ポットライフ（可使用時間）は混合から約1時間を目安にしてください。

※ 作業後は、常温（約25℃）で完全硬化を待ちます。

液垂れが収まるまで：混合後約3時間（注）

完全硬化まで：混合後約24時間

（注）水中での利用や通電はこの時点から可能です。

お問い合わせ先

エスイーシー・シープレックス株式会社

〒040-0052 北海道函館市大町13番1号
函館市臨海研究所

URL <http://sec-seaprex.co.jp>

Mail jellafin-support@sec-seaprex.co.jp

TEL 0138-27-7519 / FAX 0138-78-0093

<受付時間> 9:00~17:00（土・日・祝日、及び年末年始を除く）

使い方はYouTubeでも公開しています。
本紙とあわせてご覧ください。

ジェラフィンの使い方
ver1.0（2019/03/11現在最新版）

<https://youtu.be/OVBNPvOmzY4>

オー オー

